



TRUE SIMULATION TRAINING... MISSION READY RESULTS

ヴァーチャルな脅威の再現。本格的な臨場感。

Advanced Disaster Management Simulator (ADMS)は、災害や突発的な緊急事態を高画質のバーチャルリアリティ環境を臨場感のある映像とエフェクトで再現します。ADMSによるシミュレーションは台本にそった物ではなく変更が可能なものであり、実体験のように長く記憶に残るものとなるでしょう。訓練生は口頭によって指示を与えられ、リアルタイムでの対応を迫られます。段階の移行、状況が激化するか解決に向かうか、などは訓練生の判断の善し悪しに委ねられるのです。ADMSは高度に発展したシミュレーションプログラムと、物理学に即したエフェクトによるTrue-Simulation技術により設計されています。つまり、最も現実に即したプログラムと言えるのです。

- ・脅威に伴う人体に与える影響
- ・混雑状況によるシミュレーションへの影響
- ・交通状況による配備への影響
- ・消火が行われない場合の延焼
- ・地形に沿った危険物の流出



空軍基地のバーチャルリアリティ映像

ADMSによる訓練の利点

- ・省コスト: シミュレーション実施費用のみ
- ・準用基準: NIMS、NFPA、HSEEP、DOJ、NATO、ICAO およびCAAガイドラインを準用
- ・経済的: 全体の訓練費用の削減
- ・効率化: 大人数による訓練が可能
- ・包括的: 広範囲な脅威・部署に対応
- ・現実性: 最新の脅威に備えた訓練
- ・高い効果: 高い学習効果を生みます
- ・環境への意識: 環境に全く影響を与えません
- ・カスタマイズ化: 簡単に新たな訓練を作成できます
- ・省資源: 特別な防護服を必要としません
- ・実用性: 低頻度の状況も訓練可能
- ・繰り返し: 反復訓練が可能
- ・利便性: スケジュールに合わせた訓練
- ・判定可能: スコアリングおよび評価
- ・秘匿性: 安全で内々に訓練可能
- ・安全性: 怪我を負わない

40年以上の経験

Environmental Tectonics Corporation (ETC)社は40年もの間劇的な変化をもたらす先進的な技術開発の最前線に立ち続けています。

ADMSはこれまで世界中の災害対策部隊や実世界の災害に対応する責任チームに採用されています。



ETC SIMULATION
TRAINING SYSTEMS

2100 N. Alafaya Trail, #900, Orlando, FL 32826
Phone: 407.282.3378
www.ETCsimulation.com



A Leap into 21st Century Training with ETC

国防総省の消火の専門家が、ADMSに使われている技術の提供を受け、彼らの訓練プログラムに組み込まれることになりました。Marty KauchakというグループエディターはADMSにより改訂され、新しい訓練生に恩恵を与えることになるでしょう。

Authored by Fiona Greenyer, Military Simulation & Training, March 2011

ETCのAdvanced Disaster Management Simulator (ADMS)は、様々な技術を元にした先進的なバーチャルリアリティを使ったトレーニングプログラムです。市民の安全を守るような世界中の緊急対応を行う人々が、ADMSを使って事故や脅威に対する訓練・習熟を行っています。

ADMSは、その始まりが、高度に発展したプログラムと、物理学を基準としたシミュレーションであり、そのシナリオが、徐々に現実に即した厳しいものとなっていくことに、MS&Tは注目していました。

ADMSはもはや市民の安全を守る人々に限定したものではありません。ADMSはもはやアメリカの空軍の、教育および訓練部隊に、その消防隊の訓練プログラムとして採用されています。また、ADMSは、テキサスのサンディエゴにある、ルイスFガーランド防災訓練アカデミーにも採用されています。

このような繋がりにより、ETCはAdayana Government Groupと連携し、顧問契約を結びました。ETCはシミュレーターの開発と提供を行い、Adayanaはシミュレーターの推進—インストラクターの訓練、訓練マニュアル、プロジェクト管理およびコンサルサービスを行います。空軍に最初のADMSユニットが納入されたのは2011年の9月初旬のことでした。

ADMSの推進により、国防総省に最新の消火トレーニングプログラムが導入されることになりました。システムには現存するNorma Brown空軍基地のバーチャルレプリカ、構内車、および航空機や建物の火災などの様々なシナリオが導入されました。

Norma Brownは1979年代に防災アカデミーでの卓上訓練に使用された架空の空軍基地です。「Norma BrownはHOスケール(1/87)の、30x15ftの都市です」と、同アカデミーのインストラクターであるTC Sirmans氏はMS&Tに語っています。

Sirmans氏は曹長を引退し、全体的な立場から現在の生きたトレーニングシステムのレベルを判断する立場にあります。「基地には車など火源となるものが多く、建屋の周りに車を置く必要があるため、生徒達は鳥の目のような視点を持つことができます。生徒達は不利な状況での事故に習熟する必要があります。なぜなら火災時とは異なり、訓練時にはストリートビューではなく全体を見渡せるからである。ADMSを使うことで生徒達はより現実に即した視点を獲得、事故対応の指揮者としてのスキルを磨くことができる。」アカデミーのmobile training teams (MTTs)がGoodfellow空軍基地に展開したとき、トレーニングの目的で建屋の写真を使用しました。

防災アカデミーでは事故対応の指揮者としての課程およびNFPAに従った様々な課程を教えています。認証課程は、国際的な防災業務認証会議によって行われます。ADMSはMTTsにも採用されています。ADMSは消防士のトレーニングをより現実に即した厳しいものに、劇的に変化させるであろうと期待されています。「私たちは物理現象に即した火災をスクリーン上に表現でき、被災者を配置させる。生徒達が実際に「消火活動」を行い、その判断に応じた結果を得ることが出来る。結果として消火できれば、人命は救われ、損害が抑えられる」とSirmans氏は述べています。

ETCは、国防総省の消火設備士が使うようなADMSユニットの芯となる可能性を育て上げてきた。「私たちは、卓上のNorma Brown空軍基地を、仮想の車両やクルー、飛行機やカスタマイズされたシナリオを開発した。基地全体がスケール化されていることで、訓練者は彼らがそこにいるように感じるだろう。」とADMSプログラムの開発マネージャーであるKaren Delos Santsは述べている。初期のADMSの納入時には4つのシナリオが含まれており、オプションで追加シナリオを納入した。トレーナーは目的に応じてシナリオを組み合わせることができ、特殊な用途のシナリオのサポートも行っている。

ETC社はさらに国防総省の他の部署とも打ち合わせを行っている。

